

SecureWare/Credential Lifecycle Manager

利用の手引き

EDMS オプション編

2018 年 3 月

日本電気株式会社

はしがき

本書は、SecureWare/Credential Lifecycle Manager(以下、CLM と称します)の EDMS オプションについて説明したものです。

本書の構成は以下のとおりです。

章	タイトル	内容
1	EDMS オプションの概要	EDMS オプションの概要説明
2	WebAPI 実行コマンド	EDMS オプションが提供するコマンドについての説明
3	WebAPI	EDMS オプションが提供する WebAPI についての説明

なお、関連説明書として、次のものがあります。

- ・ SecureWare/Credential Lifecycle Manager 利用の手引き
- ・ SecureWare/Credential Lifecycle Manager コマンドリファレンス
- ・ SecureWare/Credential Lifecycle Manager WebAPI リファレンス

2018 年 3 月 第一版

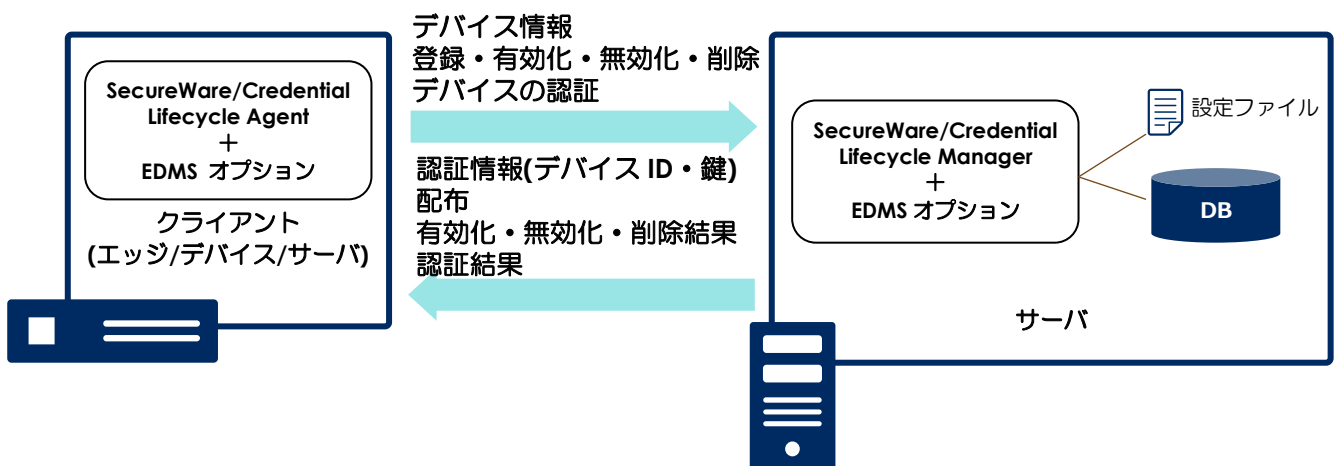
目次

1	EDMS オプションの概要.....	4
1.1	主な機能.....	4
2	WebAPI 実行コマンド.....	6
2.1	WebAPI 実行コマンド	6
3	WebAPI.....	26
3.1	WebAPI 一覧.....	26
3.2	デバイス管理 API	27
3.2.1	デバイス ID 登録 API.....	27
3.2.1	デバイス ID 認証 API.....	30
3.2.1	デバイス ID 無効化 API.....	32
3.2.1	デバイス ID 有効化 API.....	34
3.2.1	デバイス ID 削除 API.....	36
3.2.1	デバイス ID 一括登録 API.....	38
3.2.2	デバイス ID 一括無効化 API.....	42
3.2.3	デバイス ID 一括有効化 API.....	44
3.2.4	デバイス ID 一括削除 API.....	47

1 EDMS オプションの概要

EDMS オプションは、CLM と、クライアント上で認証情報の管理を行う Agent(SecureWare/Credential Lifecycle Agent(以下、CLA と称します))の機能を拡張し、CLM にデバイスライフサイクル管理機能を追加するオプションです。

本オプションを導入することで、CLM でデバイスの使用開始～デバイスの使用中止というデバイスのライフサイクルを管理することが可能になります。また、CLM は、管理している認証情報(ID・鍵)とデバイスのライフサイクルを連動・管理します。認証情報(ID・鍵)とデバイスのライフサイクルを連動・管理することにより、CLM はデバイスのライフサイクルに基づいた認証認可機能も提供します。



1.1 主な機能

EDMS オプションが提供する機能の概要を以下に記載します。

- デバイス ID 登録機能

CLM にデバイスを登録し、デバイスに対して論理的でユニークな ID(デバイス ID)と、デバイス用のパスワード(事前共有キー)を発行する機能。

- デバイス ID 認証機能

デバイスが所有しているデバイス ID・デバイス用パスワード(事前共有キー)と、CLM に登録されているデバイス ID・デバイス用パスワード(事前共有キー)が一致するかを照合(認証)する機能。

- デバイス ID 有効化・無効化機能

CLM に登録されているデバイス ID の状態を有効から無効へ、または無効から有効へ変更する機能。

➤ デバイス ID 削除機能

CLM に登録されているデバイス ID およびデバイスの情報を削除する機能。

➤ デバイス ID 一括登録機能

CLM に複数のデバイスを一括登録し、登録した各デバイスに対して論理的でユニークな ID(デバイス ID)と、デバイス用のパスワード(事前共有キー)を発行する機能。

➤ デバイス ID 一括有効化・一括無効化機能

CLM に登録されているデバイス ID の状態を有効から無効へ、または無効から有効へ一括変更する機能。

➤ デバイス ID 一括削除機能

CLM に登録されているデバイス ID およびデバイスの情報を一括削除する機能。

2 WebAPI 実行コマンド

EDMS オプションで提供するコマンドは、下表の通りです。

コマンドの詳細は、2.1 章をご覧ください。

項番	コマンド	コマンド名	インストールディレクトリ	説明
1	WebAPI 実行コマンド	SWCLMCLIENT	/opt/nec/pf/swcagent/bin/	パラメータを指定することにより、各 WebAPI を実行する。

2.1 WebAPI 実行コマンド

WebAPI 実行コマンドは、CLM・CLA が提供する WebAPI を実行するコマンドです。

EDMS オプションをインストールすることにより、WebAPI 実行コマンドからデバイス管理機能の WebAPI を使用することができます。

注意事項

- コマンドは、root ユーザもしくは root グループに所属するユーザで実行してください。
- 本オプションを適用することにより、V1.0 で提供している WebAPI 実行コマンド「swcagent」は「SWCLMCLIENT」に置き換わります。「swcagent」で提供している機能は、全て「SWCLMCLIENT」で使用可能です。

提供機能

本コマンドで提供している機能は以下の通りです。

- デバイス ID 登録

デバイス ID 登録 API を実行し、CLM にデバイスを登録します。また、登録したデバイスに対して論理的でユニークな ID(デバイス ID)と、デバイス用のパスワード(事前共有キー)を発行します。パスワードの複雑さは CLM の設定に従います。

- デバイス ID 無効化

デバイス ID 無効化 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID の状態を有効から無効に変更します。デバイス ID の状態を無効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことはできません。

- デバイス ID 有効化

デバイス ID 有効化 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID の状態を無効から有効に変更します。デバイス ID の状態を有効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことができます。

- デバイス ID 削除

デバイス ID 削除 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID およびデバイス情報を削除します。デバイス ID に紐づいた電子証明書は失効します。

- デバイス ID 一括登録

デバイス ID 一括登録 API を実行し、CLM にデバイスを一括登録します。また、登録した各デバイスに対して論理的でユニークな ID(デバイス ID)と、デバイス用のパスワード(事前共有キー)を発行します。パスワードの複雑さは CLM の設定に従います。

- デバイス ID 一括無効化

デバイス ID 一括無効化 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID の状態を有効から無効に一括変更します。デバイス ID の状態を無効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことはできません。

- デバイス ID 一括有効化

デバイス ID 一括有効化 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID の状態を無効から有効に一括変更します。デバイス ID の状態を有効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことができます。

- デバイス ID 一括削除

デバイス ID 一括削除 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID およびデバイス情報を一括削除します。デバイス ID に紐づいた電子証明書は失効します。

実行形式

実行時に以下のオプション、および、オプション値を指定します。指定できるオプションは、機能によって異なります。

また、事前に ID・パスワード照合コマンドを実行し、CLM と ID・パスワード(事前共有キー)による認証を行っておく必要があります。ID・パスワード照合コマンドについては、別紙「コマンドリファレンス」をご覧ください。

● デバイス ID 登録

> SWCLMCLIENT devreg	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
----------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 登録では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
devicename	必須	デバイス名。デバイスを特定可能な名称を指定します。
devnameonly	任意	指定可能な値は、「1」固定です。

		本項目を指定した場合、デバイス情報として、devicename に指定したデバイス名のみを CLM へ登録します。 本項目を省略した場合、以下を WebAPI 実行コマンドが収集し、デバイス情報として devicename に指定したデバイス名と収集した情報を CLM へ登録します。 ・ IP アドレス ・ MAC アドレス ・ OS 名 ・ OS バージョン ・ アーキテクチャ ・ CPU 名 ・ メモリサイズ ・ ホスト名 ・ コンピュータ名
--	--	---

実行例

```
# SWCLMCLIENT devreg -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data devicename="iotgatewaytest",devnameonly=1
```

devnameonly について

コマンドの設定ファイルに「devnameonly=1」を追記することで、コマンド実行時の「devnameonly」の既定値を「1(=devicename のみ登録)」とすることが可能です。

ファイルパス	/etc/swcagent/swcagent.conf
書式	「パラメータ名=設定値」の形式で指定します。 「#」で始まる行は、コメント行と扱います。
設定項目	パラメータ「ext-data」に指定します。 次のように設定することで、コマンド実行時の既定値が「1(=devicename のみ登録)」になります。 <pre>ext-data=devnameonly=1,built-in-ca-path=/opt/nec/pf/swcagent/bin/built-in-ca.pem</pre>

● デバイス ID 無効化

>SWCLMCLIENT devinvalidate	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
----------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 無効化では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
devicename	必須 ※ 1	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。 ※1: deviceid を指定する場合は、任意です。
deviceid	必須 ※ 2	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※2: devicename を指定する場合は、任意です。

実行例

```
# SWCLMCLIENT devinvalidate -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data devicename="i  
otgatewaytest"
```

● デバイス ID 有効化

>SWCLMCLIENT devvalidate	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
--------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1～0xFFFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 有効化では、-ext-data に以下の項目を指定することができます

項目	必須/任意	説明
devicename	必須 ※ 1	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。 ※1: deviceid を指定する場合は、任意です。
deviceid	必須 ※ 2	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※2: devicename を指定する場合は、任意です。

```
# SWCLMCLIENT devinvalidate -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data deviceid="0000000001"
```

● デバイス ID 削除

>SWCLMCLIENT devdelete	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1～0xFFFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 削除では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
devicename	必須 ※ 1	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。 ※1: deviceid を指定する場合は、任意です。
deviceid	必須 ※ 2	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※2: devicename を指定する場合は、任意です。

```
# SWCLMCLIENT devdelete -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data deviceid="000000  
0001"
```

● デバイス ID 一括登録

>SWCLMCLIENT devbatreg	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1～0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 一括登録では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
batfile-path	任意	登録するデバイスの情報を記載した CSV ファイルまでの絶対パスを指定します。本項目省略時は、「/tmp/swclm-batch-devreg.csv」を参照します。 CSV ファイルのフォーマットは、後述「デバイス ID 一括登録用ファイル」を参照してください。

```
# SWCLMCLIENT devbatreg -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data batfile-path="/tmp/regist.csv"
```

デバイス ID 一括登録用ファイル

デバイス ID を一括登録するには、デバイス情報を記載したファイルが必要です。次のフォーマットで作成します。

ファイル形式	CVS (区切り文字: カンマ(,))
文字コード	UTF-8
書式	次の項目を 1 行 1 デバイスで記載します。 項目値を省略する場合は、空文字で指定します。 "デバイス名","デバイスの IP アドレス","デバイスの MAC アドレス","デバイスの製造番号","デバイスの資産番号","OS 名","OS バージョン","アーキテクチャ","CPU 名","メモリーサイズ","ホスト名","コンピュータ名"

設定項目	記述可能な項目は、次の通りです。		
	項目	必須/任意	説明
	デバイス名	必須	デバイス名。 最大文字列長は、256byte です。 デバイスを特定可能な名称を指定します。
	IP アドレス	任意	デバイスの IP アドレス。
	MAC アドレス	任意	デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定します。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012
	製造番号	任意	デバイスの製造番号。
	資産番号	任意	デバイスの資産番号
	OS 名	任意	デバイスの OS 名。
	OS バージョン	任意	デバイスの OS のバージョン。
	アーキテクチャ	任意	デバイスのアーキテクチャ。
	CPU 名	任意	デバイスの CPU 名。
	メモリサイズ	任意	デバイスのメモリサイズ。
	ホスト名	任意	デバイスのホスト名。
	コンピュータ名	任意	デバイスのコンピュータ名。
記述例	"iot-1","192.168.0.1","12:34:56:78:90:12",,"Debian","8.6","x86","ARM","512MB","iotdevice01","iotdevice01" "iot-2","192.168.0.2","12:34:56:78:90:13",,,,,,,,,		

● デバイス ID 一括無効化

>SWCLMCLIENT devbatinvalidate	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
-------------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1～0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 一括無効化では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
batfile-path	任意	無効化するデバイスの情報を記載した CSV ファイルまでの絶対パスを指定します。本項目省略時は、「/tmp/swclm-batch-devmod.csv」を参照します。 CSV ファイルのフォーマットは、後述「デバイス ID 状態変更用ファイル」を参照してください。

```
# SWCLMCLIENT devbatinvalide -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data batfile-path
="/tmp/invalidate.csv"
```

デバイス ID 状態変更用ファイル

デバイス ID を一括無効化するには、デバイス情報を記載したファイルが必要です。次のフォーマットで作成します。

ファイル形式	CVS (区切り文字: カンマ(,))										
文字コード	UTF-8										
フォーマット	次の項目を 1 行 1 デバイスで記載します。 デバイス ID かデバイス名のどちらか一方を指定します。 両方を指定した場合は、デバイス ID を優先し、デバイス名は無視します。 <pre>"デバイス ID","デバイス名"</pre>										
項目	記述可能な項目は、次の通りです。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>必須/任意</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デバイス ID</td><td>必須 ※ 1</td><td> 操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。 </td></tr> <tr> <td>デバイス名</td><td>必須 ※ 2</td><td> 操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。 </td></tr> </tbody> </table>		項目	必須/任意	説明	デバイス ID	必須 ※ 1	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。	デバイス名	必須 ※ 2	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。
項目	必須/任意	説明									
デバイス ID	必須 ※ 1	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。									
デバイス名	必須 ※ 2	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。									
記述例	<pre>"0000000001","" ","iot-02" "0000000003","iot-03"</pre>										

● デバイス ID 一括有効化

>SWCLMCLIENT devbatvalidate	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
-----------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1～0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 一括有効化では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
batfile-path	任意	有効化するデバイスの情報を記載した CSV ファイルまでの絶対パスを指定します。本項目省略時は、「/tmp/swclm-batch-devmod.csv」を参照します。 CSV ファイルのフォーマットは、後述「デバイス ID 状態変更用ファイル」を参照してください。

実行例

```
# SWCLMCLIENT devbatvalidate -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data batfile-path="/tmp/validate.csv"
```

デバイス ID 状態変更用ファイル

デバイス ID を一括有効化するには、デバイス情報を記載したファイルが必要です。次のフォーマットで作成します。

ファイル形式	CVS (区切り文字: カンマ(,))					
文字コード	UTF-8					
フォーマット	次の項目を 1 行 1 デバイスで記載します。 デバイス ID かデバイス名のどちらか一方を指定します。 両方を指定した場合は、デバイス ID を優先し、デバイス名は無視します。 <table><tr><td colspan="3">"デバイス ID","デバイス名"</td></tr></table>			"デバイス ID","デバイス名"		
"デバイス ID","デバイス名"						
項目	記述可能な項目は、次の通りです。					
	項目	必須/任意	説明			
	デバイス ID	必須 ※ 1	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。			
	デバイス名	必須 ※ 2	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時に指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。			
記述例	"0000000001","" ","iot-02" "0000000003","iot-03"					

● デバイス ID 一括削除

>SWCLMCLIENT devbatdel	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1～0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 一括削除では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
batfile-path	任意	削除するデバイスの情報を記載した CSV ファイルまでの絶対パスを指定します。本項目省略時は、「/tmp/swclm-batch-devmod.csv」を参照します。 CSV ファイルのフォーマットは、後述「デバイス ID 状態変更用ファイル」を参照してください。

```
# SWCLMCLIENT devbatdel -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data batfile-path="/tmp/del.csv"
```

デバイス ID 状態変更用ファイル

デバイス ID を一括削除するには、デバイス情報を記載したファイルが必要です。次のフォーマットで作成します。

ファイル形式	CVS (区切り文字: カンマ(,))					
文字コード	UTF-8					
フォーマット	次の項目を 1 行 1 デバイスで記載します。 デバイス ID かデバイス名のどちらか一方を指定します。 両方を指定した場合は、デバイス ID を優先し、デバイス名は無視します。 <table><tr><td colspan="3">"デバイス ID","デバイス名"</td></tr></table>			"デバイス ID","デバイス名"		
"デバイス ID","デバイス名"						
項目	記述可能な項目は、次の通りです。					
	項目	必須/任意	説明			
	デバイス ID	必須 ※ 1	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。			
	デバイス名	必須 ※ 2	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時に指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。			
記述例	"0000000001","" ""","iot-02" "0000000003","iot-03"					

実行結果

実行結果は、WebAPI 実行コマンドの終了コードと CLM からのレスポンスで確認します。

詳細は、別紙「コマンドリファレンス」の「2.WebAPI 実行コマンド」 - 「実行結果」をご覧ください。

ログ出力

WebAPI 実行コマンドが出力するログについては、詳細は、別紙「コマンドリファレンス」の「2.WebAPI 実行コマンド」 - 「ログ出力」をご覧ください。

3 WebAPI

EDMS オプションで提供する WebAPI について説明します。

3.1 WebAPI 一覧

EDMS オプションをインストールすることにより、利用可能となる WebAPI を以下に示します。

表内のライセンスキー認証と ID・パスワード(事前共有キー)認証については、別紙「WebAPI リファレンス」をご覧ください。

表 3-1 WebAPI 一覧

	API 名	メソッド	URI	説明	認証方式	
					ライセンス キー 認 証	ID・パス ワード (事前共 有キー) 認証
デバイスの登録	デバイス ID 登録	POST	/SWCLM/v10/DeviceInfo	デバイス情報を登録し、デバイス ID とデバイス用パスワード(事前共有キー)を発行する。	○	○
デバイスの認証	デバイス ID 認証	POST	/SWCLM/v10/DeviceInfo	デバイス ID とデバイス用パスワード(事前共有キー)で認証する。	○	○
デバイスの更新	デバイス ID 無効化	POST	/SWCLM/v10/DeviceInfo	デバイス ID を無効化する。	○	○
	デバイス ID 有効化	POST	/SWCLM/v10/DeviceInfo	デバイス ID を有効化する。	○	○
デバイスの使用中止	デバイス ID 削除	POST	/SWCLM/v10/DeviceInfo	デバイス ID を削除する。 デバイス ID に紐づいた電子証明書は失効する。	○	○
一括処理	デバイス ID 一括登録	POST	/SWCLM/v10/DeviceInfo	デバイス情報を一括登録し、デバイス ID とデバイス用パスワード(事前共有キー)を一括で払い出す。	○	○
	デバイス ID 一括無効化	POST	/SWCLM/v10/DeviceInfo	デバイス ID の状態を一括で無効化する。	○	○
	デバイス ID 一括有効化	POST	/SWCLM/v10/DeviceInfo	デバイス ID の状態を一括で有効化する。	○	○
	デバイス ID 一括削除	POST	/SWCLM/v10/DeviceInfo	デバイス ID を一括削除する。 デバイス ID に紐づいた電子証明書は失効する。	○	○

3.2 デバイス管理 API

本章では、EDMS オプションで提供するデバイス管理 API について説明します。

3.2.1 デバイス ID 登録 API

CLM にデバイスを登録します。また、登録したデバイスに対して論理的でユニークな ID(デバイス ID)と、デバイス用のパスワード(事前共有キー)を発行します。

パスワードの複雑さは CLM の設定に従います。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/v10/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明
mode	必須	実行モード。 「register」を指定してください。
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。
keyfilepath	必須	パスワード保存ファイルパス CLM の管理情報として使用します。 「/tmp/key」を指定してください。
devicename	必須	デバイス名。 最大文字列長は、256byte です。 デバイスを特定可能な名称(デバイス名)を指定してください。
ipaddress	任意	デバイスの IP アドレス。
macaddress	任意	デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定してください。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012

ext_data	任意	付加情報。 項目名と項目値を配列で指定してください。 項目名の最大文字列長は、128byte です。また項目値の最大文字列長は、256byte です。 既定で指定可能な付加情報は、次の通りです。 また、以下以外に、任意の付加情報も指定可能です。 <table><tr><th>項目名</th><th>説明</th></tr><tr><td>osname</td><td>OS 名</td></tr><tr><td>osversion</td><td>OS バージョン</td></tr><tr><td>architecture</td><td>アーキテクチャ</td></tr><tr><td>cpuname</td><td>CPU 名</td></tr><tr><td>memorysize</td><td>メモリサイズ</td></tr><tr><td>hostname</td><td>ホスト名</td></tr><tr><td>computername</td><td>コンピュータ名</td></tr></table>	項目名	説明	osname	OS 名	osversion	OS バージョン	architecture	アーキテクチャ	cpuname	CPU 名	memorysize	メモリサイズ	hostname	ホスト名	computername	コンピュータ名
項目名	説明																	
osname	OS 名																	
osversion	OS バージョン																	
architecture	アーキテクチャ																	
cpuname	CPU 名																	
memorysize	メモリサイズ																	
hostname	ホスト名																	
computername	コンピュータ名																	

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-2 デバイス ID 登録 API リクエストパラメータ(例)

<pre>{ "mode": "register", "keyid": "0000000001", "key": "cGFzc3dv", "devicename": "nec-edge-0001", "keyfilepath": "/tmp/key", "ipaddress": "192.168.0.1", "macaddress": "aa:aa:aa:aa:aa:aa", "ext_data": {"osname": "CentOS", "osversion": "6.8", "memorysize": "2048MB"} }</pre>
--

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
201 Created	登録成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	発行エラー
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。
deviceid	生成したデバイス ID。
devicekey	生成したデバイス用パスワード(事前共有キー)。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-3 デバイス ID 登録 API レスポンスパラメータ(例)

```
{  
  "errorcode": 0,  
  "deviceid": "0000000001",  
  "devicekey": "ANBgkqhk"  
}
```

3.2.1 デバイス ID 認証 API

デバイスが所有しているデバイス ID・デバイス用パスワード(事前共有キー)と、CLM に登録されているデバイス ID・デバイス用パスワード(事前共有キー)が一致するかを照合(認証)します。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/v10/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明
mode	必須	実行モード。 「auth」を指定してください。
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。
deviceid	必須	デバイス ID。 デバイス ID 登録 API またはデバイス ID 一括登録 API で発行したデバイス ID を指定します。
devicekey	任意	デバイス用パスワード(事前共有キー)。 デバイス ID 登録 API またはデバイス ID 一括登録 API で発行したデバイス用パスワード(事前共有キー)を指 定します。

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-4 デバイス ID 認証 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "auth",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceid": "1234567890abcdefghijklmnopqrstuvwxyz",
  "devicekey": "ANBqkqhK"
}
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	認証成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	照合失敗
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-5 デバイス ID 認証 API レスポンスパラメータ(例)

<pre>{ "errorcode": 0 }</pre>

3.2.1 デバイス ID 無効化 API

CLM に登録されているデバイス ID の状態を有効から無効に変更します。デバイス ID の状態を無効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことはできません。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/v10/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明						
mode	必須	実行モード。 「batchinvalidate」を指定してください。						
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。						
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。						
deviceinfo	必須	無効化するデバイスの情報。 以下のいずれかの項目を配列の形式で指定してください。 <table><tr><th>項目名</th><th>説明</th></tr><tr><td>deviceid</td><td>デバイス ID</td></tr><tr><td>devicename</td><td>デバイス名</td></tr></table>	項目名	説明	deviceid	デバイス ID	devicename	デバイス名
項目名	説明							
deviceid	デバイス ID							
devicename	デバイス名							

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-6 デバイス ID 無効化 API リクエストパラメータ(例・デバイス ID を指定)

```
{
  "mode": "batchinvalidate",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{"deviceid": "0000000001"}]
}
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	無効化成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー デバイスの状態不正
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。
deviceinfo	無効化したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納する。
errorcode	エラーコード。レスポンスパラメータ errorcode と同じ値を格納。
deviceid	無効化したデバイスのデバイス ID。
devicename	無効化したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-7 デバイス ID 無効化 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{"errorcode": 0, "deviceid": "00000000001", "devicename": "nec-edge-0001"}]
}
```

3.2.1 デバイス ID 有効化 API

CLM に登録されているデバイス ID の状態を無効から有効に変更します。デバイス ID の状態を有効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことができます。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/v10/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明						
mode	必須	実行モード。 「batchvalidate」を指定してください。						
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。						
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。						
deviceinfo	必須	無効化するデバイスの情報。 以下のいずれかの項目を配列の形式で指定してください。 <table><tr><th>項目名</th><th>説明</th></tr><tr><td>deviceid</td><td>デバイス ID</td></tr><tr><td>devicename</td><td>デバイス名</td></tr></table>	項目名	説明	deviceid	デバイス ID	devicename	デバイス名
項目名	説明							
deviceid	デバイス ID							
devicename	デバイス名							

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-8 デバイス ID 有効化 API リクエストパラメータ(例・デバイス名を指定)

```
{
  "mode": "batchvalidate",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{"devicename": "nec-edge-0001"}]
}
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	有効化成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー デバイスの状態不正
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。
deviceinfo	行こう化したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納する。
errorcode	エラーコード。レスポンスパラメータ errorcode と同じ値を格納。
deviceid	有効化したデバイスのデバイス ID。
devicename	有効化したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-9 デバイス ID 有効化 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{"errorcode": 0, "deviceid": "00000000001", "devicename": "nec-edge-0001"}]
}
```

3.2.1 デバイス ID 削除 API

CLM に登録されているデバイス ID とデバイス情報を削除します。

デバイス ID に紐づく電子証明書は、失効します。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/v10/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明						
mode	必須	実行モード。 「batchdelete」を指定してください。						
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。						
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。						
deviceinfo	必須	削除するデバイスの情報。 以下のいずれかの項目を配列の形式で指定してください。 <table><tr><th>項目名</th><th>説明</th></tr><tr><td>deviceid</td><td>デバイス ID</td></tr><tr><td>devicename</td><td>デバイス名</td></tr></table>	項目名	説明	deviceid	デバイス ID	devicename	デバイス名
項目名	説明							
deviceid	デバイス ID							
devicename	デバイス名							

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-10 デバイス ID 削除 API リクエストパラメータ(例・デバイス名を指定)

```
{
  "mode": "batchvalidate",
  "keyid": "00000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{"devicename": "nec-edge-0001"}]
}
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	削除成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー デバイスの状態不正
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。
deviceinfo	削除したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納する。
errorcode	エラーコード。レスポンスパラメータ errorcode と同じ値を格納。
deviceid	削除したデバイスのデバイス ID。
devicename	削除したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-11 デバイス ID 削除 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{"errorcode": 0, "deviceid": "00000000001", "devicename": "nec-edge-0001"}]
}
```

3.2.1 デバイス ID 一括登録 API

CLM にデバイスを一括登録します。また、登録した各デバイスに対して論理的でユニークな ID(デバイス ID)と、デバイス用のパスワード(事前共有キー)を発行します。

パスワードの複雑さは CLM の設定に従います。

なお、デバイス一括登録中にエラーが発生した場合は、当該デバイスに関する処理をスキップし、次のデバイスの登録処理を行います。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/v10/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明
mode	必須	実行モード。 「batchregister」を指定してください。
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。

deviceinfo

必須

登録するデバイスの情報。

以下の項目を、配列で指定します。

パラメータ	必須/任意	説明																
devicename	必須	デバイス名。 最大文字列長は、256byte です。 デバイスを特定可能な名称を指定します。																
ipaddress	任意	デバイスの IP アドレス。																
macaddress	任意	デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定します。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012																
ext_data	任意	付加情報。 項目名と項目値を配列で指定して下さい。 項目名の最大文字列長は、128byte です。 項目値の最大文字列長は、256byte です。 既定で指定可能な付加情報は、次の通りです。 また、以下以外に、任意の付加情報も指定可能です。 <table><thead><tr><th>項目名</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>osname</td><td>OS 名</td></tr><tr><td>osversion</td><td>OS バージョン</td></tr><tr><td>architecture</td><td>アーキテクチャ</td></tr><tr><td>cpuname</td><td>CPU 名</td></tr><tr><td>memorysize</td><td>メモリサイズ</td></tr><tr><td>hostname</td><td>ホスト名</td></tr><tr><td>computername</td><td>コンピュータ名</td></tr></tbody></table>	項目名	説明	osname	OS 名	osversion	OS バージョン	architecture	アーキテクチャ	cpuname	CPU 名	memorysize	メモリサイズ	hostname	ホスト名	computername	コンピュータ名
項目名	説明																	
osname	OS 名																	
osversion	OS バージョン																	
architecture	アーキテクチャ																	
cpuname	CPU 名																	
memorysize	メモリサイズ																	
hostname	ホスト名																	
computername	コンピュータ名																	

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-12 デバイス ID 一括登録 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "batchregister",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{
    "devicename": "nec-edge-0001",
    "ipaddress": "192.168.0.1",
    "macaddress": "aa:aa:aa:aa:aa:aa",
    "ext_data": {"osname": "CentOS", "osversion": "6.8", "memorysize": "2048MB"}
  }, {
    "devicename": "nec-edge-0002",
    "ipaddress": "192.168.0.2",
    "macaddress": "aa:aa:aa:aa:aa:ab",
    "ext_data": {"osname": "CentOS", "osversion": "6.8", "memorysize": "2048MB"}
  }]
}
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
201 Created	登録成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。

	エラーが複数発生した場合は、最後に発生したエラーのエラーコードを格納します。
deviceinfo	登録したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納する。
errorcode	エラーコード。
deviceid	生成したデバイス ID。
devicename	登録したデバイスのデバイス名。
devicekey	生成したデバイス用パスワード(事前共有キー)。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-13 デバイス ID 一括登録 API レスポンスパラメータ(例)

<pre>{ "errorcode": 0, "deviceinfo": [{ "errorcode": 0, "deviceid": "0000000001", "devicename": "nec-edge-0001" }, { "errorcode": 0, "deviceid": "0000000002", "devicename": "nec-edge-0002" }] }</pre>

3.2.2 デバイス ID 一括無効化 API

CLM に登録されているデバイス ID の状態を有効から無効に一括変更します。デバイス ID の状態を無効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことはできません。

なお、デバイス一括無効化中にエラーが発生した場合は、当該デバイスに関する処理をスキップし、次のデバイスの無効化処理を行います。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/v10/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明						
mode	必須	実行モード。 「batchinvalidate」を指定してください。						
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。						
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。						
deviceinfo	必須	無効化するデバイスの情報。 以下のいずれかの項目を配列の形式で指定してください。 <table><tr><th>項目名</th><th>説明</th></tr><tr><td>deviceid</td><td>デバイス ID</td></tr><tr><td>devicename</td><td>デバイス名</td></tr></table>	項目名	説明	deviceid	デバイス ID	devicename	デバイス名
項目名	説明							
deviceid	デバイス ID							
devicename	デバイス名							

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-14 デバイス ID 一括無効化 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "batchinvalidate",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{
    "deviceid": "0000000001"
  }, {
    "devicename": "nec-edge-0002"
  }]
}
```

```
}
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	無効化成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー デバイスの状態不正
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。 エラーが複数発生した場合は、最後に発生したエラーのエラーコードを格納します。
deviceinfo	無効化したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納します。
errorcode	エラーコード。
deviceid	無効化したデバイスのデバイス ID。
devicename	無効化したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-15 デバイス ID 一括無効化 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{
    "errorcode": 0, "deviceid": "00000000001", "devicename": "nec-edge-0001"
  }, {
    "errorcode": 0, "deviceid": "00000000002", "devicename": "nec-edge-0002"
  }]
}
```

3.2.3 デバイス ID 一括有効化 API

CLM に登録されているデバイス ID の状態を無効から有効に一括変更します。デバイス ID の状態を有効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことができます。

なお、デバイス一括有効化中にエラーが発生した場合は、当該デバイスに関する処理をスキップし、次のデバイスの有効化処理を行います。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/v10/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明						
mode	必須	実行モード。 「batchvalidate」を指定してください。						
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。						
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。						
deviceinfo	必須	有効化するデバイスの情報。 以下のいずれかの項目を配列の形式で指定してください。 <table><tr><th>項目名</th><th>説明</th></tr><tr><td>deviceid</td><td>デバイス ID</td></tr><tr><td>devicename</td><td>デバイス名</td></tr></table>	項目名	説明	deviceid	デバイス ID	devicename	デバイス名
項目名	説明							
deviceid	デバイス ID							
devicename	デバイス名							

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-16 デバイス ID 一括有効化 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "batchvalidate",
  "keyid": "00000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{
    "devicename": "nec-edge-0001"
  ]
}
```

```

    }, {
      "devicename": "nec-edge-0002"
    }
  ]
}

```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	有効化成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー デバイスの状態不正
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。 エラーが複数発生した場合は、最後に発生したエラーのエラーコードを格納します。
deviceinfo	有効化したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納します。
errorcode	エラーコード。
deviceid	有効化したデバイスのデバイス ID。
devicename	有効化したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-17 デバイス ID 一括有効化 API レスポンスパラメータ(例)

```

{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [ {
    "errorcode": 0, "deviceid": "00000000001", "devicename": "nec-edge-0001"
  } ],
}

```

```
"errorCode":0,"deviceid":"0000000002", "devicename":"nec-edge-0002"
```

```
}]
```

```
}
```

3.2.4 デバイス ID 一括削除 API

CLM に登録されているデバイス ID とデバイス情報を一括削除します。デバイス ID に紐づく電子証明書は、失効します。

なお、デバイス ID 一括削除中にエラーが発生した場合は、当該デバイスに関する処理をスキップし、次のデバイスの削除処理を行います。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/v10/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明						
mode	必須	実行モード。 「batchdelete」を指定してください。						
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。						
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。						
deviceinfo	必須	削除するデバイスの情報。 以下のいずれかの項目を配列の形式で指定してください。 <table><tr><th>項目名</th><th>説明</th></tr><tr><td>deviceid</td><td>デバイス ID</td></tr><tr><td>devicename</td><td>デバイス名</td></tr></table>	項目名	説明	deviceid	デバイス ID	devicename	デバイス名
項目名	説明							
deviceid	デバイス ID							
devicename	デバイス名							

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-18 デバイス ID 一括削除 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "batchdelete",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{
    "devicename": "nec-edge-0001"
  }],
}
```

```

        "devicename": "nec-edge-0002"
    }
}

```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	削除成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー デバイスの状態不正
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。 エラーが複数発生した場合は、最後に発生したエラーのエラーコードを格納します。
deviceinfo	削除したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納します。
errorcode	エラーコード。
deviceid	削除したデバイスのデバイス ID。
devicename	削除したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-19 デバイス ID 一括削除 API レスポンスパラメータ(例)

```

{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [
    {
      "errorcode": 0, "deviceid": "00000000001", "devicename": "nec-edge-0001"
    },
    {
      "errorcode": 0, "deviceid": "00000000002", "devicename": "nec-edge-0002"
    }
  ]
}

```

}]

}